

# 「弁当の日」をとおして健やかに育む

延岡市立黒岩中学校 No.1

## 延岡市全体で「弁当の日」に取り組む！

子ども達を健やかに育みたい…。

「弁当の日」の取組には、食育のみならず、子ども達をより豊かに育む環境を醸成するために有効な要素が、実に多く含まれています。「弁当の日」を通して、子どもが、学校が、そして家庭までもが、よりよくなっていけば！！このような願いを込めて、延岡市教育委員会では、今年、市内全ての学校で一斉に「弁当の日」に取り組むことにしました。

☆ その結果 ☆



なんで、できたんだろう？



## 全ての学校で「弁当の日」をスタートさせるために

### 「弁当の日」のよさを知る！

「弁当の日」提唱者 竹下和男 氏による講演会を2回開催しました。

「弁当の日」を実施するに当たっての課題こそが解決すべき課題！

- ・ 危ない（包丁や火の扱い）
- ・ 教える人がいない
- ・ 準備できない（食材etc.） などなど…

これを解決していくことで？

### ◆弁当の日がくれたもの

- 子どもの自立
  - ・ 子どもに任せる、そしてほめる⇒自立の要件
  - ・ 自分の存在感（家族の役に立つ、頼りにされている）
  - ・ 感謝の気持ち・・・親、給食をつくる人
  - ・ 「食べ物の向こう側」が見えることも
- 親の成長
  - ・ 子ども達は出来ないのではなく、させていなかっただけ
  - ・ 「わが子はやらせればできるんだ」と気づく
  - ・ 親子の会話が増す⇒子ども達の「心の空感」を満たす
  - ・ 料理の作り方、教えたり・・・親子のコミュニケーション
- 家族の絆
  - ・ 「親は手伝わないで」・・・親への感謝の気持ち
  - ⇒ ぐらしの時間を家庭に取り戻す
  - ⇒ 家庭と学校の連携が深まる
  - 愛された子どもは素敵な大人になる

### どうやってスタートさせたか？

まずは、学校・家庭が共通理解することが重要であると考え、延岡市の「食育部会」と「栄養教諭・学校栄養職員部会」が協力して、各種情報提供を行いました。

#### 《提供した情報の例》

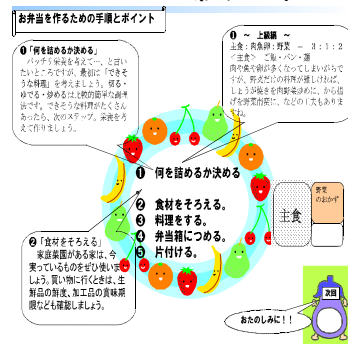
※ 説明用プレゼンデータ

#### ●弁当の日に託した6つの夢

- ① 一家団圓の食事が当たり前になる「夢」
- ② 食べ物の「命」をイメージできるようになる「夢」
- ③ 子どもたちの感性が磨かれる「夢」
- ④ 人に喜ばれることを快く思うようになる「夢」
- ⑤ 感謝の気持ちで物事を受け止められるようになる「夢」
- ⑥ 世界を確かな目で見つめるようになる「夢」

弁当の日の価値は、実践する前から、わかる人にはわからない人は、実践してみないとわからない  
弁当の日で変えたかったのは、子どもの調理技術ではなく「子どもを取り巻く環境」、目的ではなく手段

※ ししぴ集データ



※ ワークシート



### 取組を更に広げるために！

できるだけ多くの実践例を集めて各種会議等で紹介しました。！（例：黒岩小中合同の「弁当の日」）



視線の先にあるものは「何」？



「小学生のこんなかわいいお弁当！」

